

心理学演習B

科目ナンバリング SEM-304

必修 2単位

草山 太一

1. 授業の概要(ねらい)

心理的事象は日常身近に生じている事柄であり、それらは当然のこととして半ば習慣化し、特に気にもとめられないままにしていることが多いと考えられる。また、常識として分かっていることも多く、勝手な推測をしがちである。心理学演習Aに引き続き、そのような当たり前と考えられる心理的事象を題材に、複数の文献を参照することで、フローチャートなどで認知プロセスや仕組みを図解表現する作業を行う。「特定の行動について、神経科学レベルではどのように処理されているのか?」ということについて、情報処理プロセスを表現することを目指す。作成した図を用いて発表と議論を行い、文献調査によって分かった情報を統合して、最終的には一冊の絵本にまとめることを予定している。

2. 授業の到達目標

複数の文献を参照し、文献に書かれていることを統合的に図解することができる。これらの文献講読や作図を通じて、心理学に関する知識を深めることができる。

3. 成績評価の方法および基準

作業の進捗状況のチェック(30%)、作成する資料(60%)及び発表内容(10%)から評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

マーク・チャーンギージー 『ひとの目、驚異の進化』 インターシフト
ジョン・ピネル 『バイオサイコロジー』 西村書店
M.F. ベアー、B.W. コノーズ、M.A. パラディーソ 『カラー版 神経科学 -脳のプロを探る-』 西村書店
内田恵二 『視覚Ⅰ 視覚系の構造と初期機能』 朝倉書店
内田恵二 『視覚Ⅱ 視覚系の中期・高次機能』 朝倉書店
渡辺茂 『ヒト型脳とハト型脳』 文藝春秋

5. 準備学修の内容

テーマに関連したいくつかの文献を検索し、書かれている内容についてまとめておく。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 図解表現技法の方法について確認する。
- 【第2回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第3回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第4回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第5回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第6回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第7回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第8回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第9回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第10回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第11回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第12回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第13回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第14回】 文献講読し、内容についてまとめ、それを元に発表と討論を行う。
- 【第15回】 完成した絵本を元に、プレゼンテーションを行う。